

元気が一番!



滋賀県議会議員

奥村よしまさ

Okumura Yoshimasa Kensei Report

県政レポート

Vol.18

平成23年11月発行

今こそ、県と市町との建設的な議論が必要!!

～県内市町との信頼を欠く嘉田県政には、反省と改善を求めます。～



県政の推進に、県内市町との連携は不可欠です。嘉田知事は6年前の選挙で新幹線新駅を「凍結」という耳慣れない公約で当選されました。当初、知事は「凍結」とは「中止」ではないと主張されていましたが、JRからそのような中途半端な選択は無いとされると、「中止に近い」と主張を変え、結局「中止」となりました。

その後は、RD処分場問題、造林公社問題、脱ダムと流域治水問題、乳幼児医療費無料化問題、幼児一時預かり無料クーポン問題、そして今回の高校再編問題と、様々な議題がありました。すべてうやむやに押し切って未解決または、公約の不履行となっています。

嘉田知事以前の県政では、県と全市町が一体となって、滋賀県の方向性や県民全体の利益のために建設的な議論が多くありましたが、今では「県と栗東市」「県と大津市」「県と彦根市」といった議論だけとなり、大きな観点での議論が見られません。

「対話」をスローガンに掲げる嘉田県政にもかかわらず、最近では、市町からの信頼がますます失われているように思えます。

嘉田県政にとって「対話」とは、いかなる意味を持つのか?今後、市町との連携に取り組む上での、今までの反省点、また今後の改善点について知事に伺いました。

また、今後の日本経済を支えるために、大きな期待が寄せられている「都市鉱山」について、滋賀県が取り組むべき課題を指摘いたしました。

市町との連携について

市町連携についての取り組み姿勢、反省点、改善点を知事に伺います。

<嘉田知事の答弁>

これまでの反省点は、市町との対話において、「一方的な押しつけ」であるとの批判を受けています。そのような中、意見の違いを乗り越えて、丁寧に合意形成に至るよう一歩一歩努力します。

県内市町と県の議論の場である自治創造会議が停滞している一番の原因は何ですか?

<嘉田知事の答弁>

1期目は、会議そのものが開けませんでした。私の存在そのものが原因だったと思います。2期目はようやく定期的で開催できるようになりました。市町皆さんから議題を提案してもらい、議事進行も公平、平等、透明度を高める工夫をしております。



私の考え

嘉田県政は、今までの反省点を真摯に受け止め、分断されてしまった各市町との信頼回復に取り組んでいただきたい。また、大局的な視点で、各市町と建設的な議論を行っていただきたいと思えます。

都市鉱山について



私の考え:都市鉱山とは

廃棄や不使用のまま家庭で放置される携帯電話などの小型家電の中には、電子部品の製造に欠かせない希少金属(レアメタル)が存在します。金額に換算すると毎年874億円に上り「都市鉱山」とまで呼ばれています。資源の乏しい我が国は、是非とも有効に回収出来る制度作りを進めるべきです。

レアメタルのリサイクルについて滋賀県の考え方を伺います。

<嘉田知事の答弁>

循環型社会を構築する上で、貴重な取り組みと認識しています。しかし、回収方法が構築されていません。国の動きに注目しながら、市町や民間業者と連携して適切に対応したい。

レアメタルのリサイクルを滋賀県の成長産業として育成し、積極的に支援すべきと考えるが、知事の所見を伺う。

<嘉田知事の答弁>

現時点では十分な情報がありませんので、いろいろ研究させていただきたいと思えます。

国や市町とも連携をしながら検討を進めたいと考えているところです。



滋賀県議会議員

文教・警察常任委員会 委員長

地方分権・行財政対策特別委員会 委員

事務所 〒525-0041 草津市青地町962-15 サンハイム東草津1F TEL:077-567-1500 FAX:077-567-1588

自宅 〒525-0042 滋賀県草津市山寺町477 TEL・FAX:077-562-4841

奥村 芳正

<http://www.genki-shiga.jp>

活動日記毎日更新中!

携帯でも
発信しています!→



矢橋帰帆島に大規模太陽光発電所の誘致を!

(メガソーラー)

草津市の橋川渉市長は会見で、矢橋帰帆島に大規模太陽光発電所(メガソーラー)の誘致を目指すことを表明されました。私も、この方針に賛成し、実現に向けて積極的に取り組むべく、同士の自民党草津市議会議員の皆さんと共に最重点要望事項として、国・県に働きかけて参ります。

福島原子力発電所の事故以降、エネルギー源の転換が求められる中、帰帆島の約73ヘクタールの広大な土地を利用し、日本の自然エネルギー開発に向けて、草津市が大きな役割を果たしていきたいと考えています。草津市選出の滋賀県会議員として、大規模太陽光発電所の誘致に全力を尽くします。市民の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



県要望の「再生可能エネルギー調査費」を私たちが自民党は認めませんでした。

新聞等で、自民党が自然エネルギー利用に反対しているように、報道されておりますが、私たちは前回の参議院議員選挙においても、再生可能エネルギーの推進を公約に掲げております。東日本大震災、福島原子力発電所の事故を受けて、ますます緊急を要する課題であり、同時に国民全体の共通認識であります。

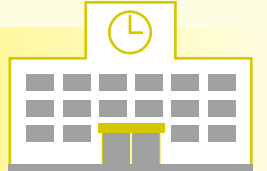


草津夢風車は、自然エネルギー利用のシンボル。

今回、滋賀県の事業として500万円の「再生可能エネルギー調査費」を予算計上する上で、自民党は県執行部に対し、その目的や手段、有効性を説明するように、再三求めて参りましたが、残念ながら、その方向性すら示されませんでしたので、これらを認めることを致しませんでした。

滋賀県では昨年度も2000万円をかけて、太陽、風力、バイオマス等のエネルギー賦存量調査を実施しております。まずは、国の方向性を見極めた上で、実効力のある政策を打ち出してゆく必要があると考えています。

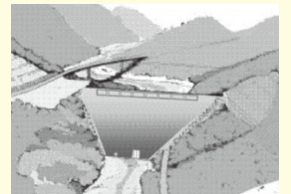
県立高校の再編計画について。



彦根西高校と彦根翔陽高校、長浜高校と長浜北高校の統合を念頭においた県立学校の再編が議論されておりますが、今県議会で、「本年度内に結論を出さず、1年以上かけて慎重に議論する」と決定しました。

高島市の北川ダム建設について。

県執行部は、北川ダムの建設を中止し、河道改修による治水を進める方針を示していましたが、下流住民の不安が解消されないとして、県の施策に意義を唱える決議案が可決されました。



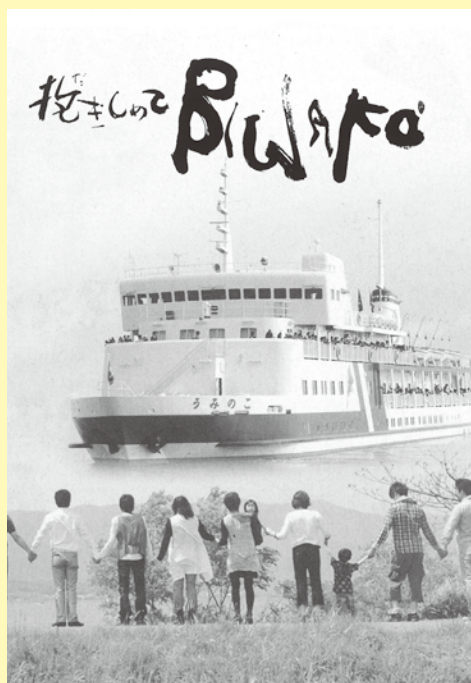
北川第一ダム完成予想図

11/6(日) 抱きしめてBIWAKO



私も参加いたします。ぜひお誘い合せの上、ご参加ください。

命の源の水を生み出す母なる「びわ湖」。その恵みに感謝し、環境を守る大切さを啓発するチャリティイベントです。皆さんの参加費は、「うみのこ」新船建造基金や社会福祉、NPOの活動基金に寄付されます。最寄のびわ湖畔までお越しください。志那吉田町の白井幸則さんが実行委員長としてがんばっておられます。



開催日 2011年11月6日(日)

開始 正午

場所 びわ湖畔

参加費 ワンコイン
(大人500円/中学生以下自由)
参加費は当日現地にてお支払い下さい。

持ち物 ビニール袋(びわ湖清掃のため)

参加されたい方は、こちらのホームページから事前登録が必要との事ですので、ご覧くださいませようお願いいたします。 <http://dakibiwa.com>

あとがき



11月3日は「文化の日」です。全国各地で文化祭や数多くのイベントが予定されています。平成23年度秋の叙勲では、草津市から次の方々が選ばれました。長年に亘る各専門分野での活躍に、心から感謝申し上げます。

〈瑞宝双光章〉

石田平八郎さん(南笠東3丁目)

中島伸芳さん(矢橋町)

早藤八朗さん(野村2丁目)

〈瑞宝単光章〉

小寺忠生さん(新浜町)

岡 茂樹さん(若草8丁目)

高岡由子さん(新浜町)

今日の私は、10時より草津市市政功労者表彰式に出席した後、志那吉田町敬老会、青地第二町文化祭、山寺町文化祭に参加させていただく予定です。

皆様も、週半ばの祝日を利用して、身近な文化を楽しまれては如何でしょうか?

年末までわずかとなりましたが、今年は3月11日に発生した東日本大震災を受けて、家族や地域の絆の大切さに気付かされることが多くありました。今後も「支えあう愛」を基本に、皆様との絆を大切に取組んで参りますのでよろしくお願いいたします。